

辰野駅前一丁目たい街の将来を考えよう

辰野駅前地区かわら版

第2号
2013.11

～たつのロマンを歩く～まちかどミュージアム

辰野駅前地区

過去と現在の融合、まちかどミュージアム

「～たつのロマンを歩く～まちかどミュージアム」と題し、ほたるの里世代間交流センター「茶の間」にて、辰野中学校美術部の生徒が辰野駅前地区の歴史ある建物やおもしろい建物を描いた作品を展示しました。味わいのある路地を歩いて、その作品の対象となった建物を実際にめぐるスタンプラリーも行いました。また、辰野駅ができてからとても賑わっていた頃の駅前の古い写真やパネル、駅前地区商店の名前が入ったすごろく等、地元の方々12名から資料提供していただき、あわせて展示し、当時を知る人、知らない世代の人にも駅前の歴史を再確認していただきました。

多くの方々に見ていただきたいと考え、「第59回辰野えびす講」にあわせて行いました。

日時：平成25年11月16日(土)・17日(日)

場所：世代間交流センター

イベント：「～たつのロマンを歩く～まちかどミュージアム」

両日の会場入場者()内はスタンプラリー参加者

11/16 184名(70名)

11/17 100名(58名)



写真は町や商工会、下辰野区、辰野駅に残るものや、一般から寄せられた58点を展示。

古い物では明治時代のものからあり、1964(昭和39)年に行われた東京五輪の聖火リレーやおんばしら、伊那電気鉄道が運行していたボンネットバス、また「辰野ほたる祭り」が今ほど有名ではなかったころ、各地でPRにあたったキャラバン隊の姿など、貴重なものを展示しました。

まちかどの歴史を写真やスケッチなどで紹介！

辰野中学校美術部のみなさんの作品



辰野中学校美術部の生徒が まちかどの歴史をスケッチや文章で紹介

辰野中学校美術部の生徒が、駅前周辺を中心に旅館や喫茶、薬局、住宅などをスケッチし、そこに携わる方々に取材をさせてもらい、現在までの歴史や思い出、駅前地区への思いなどを聴き、絵と一緒にパネルにまとめて展示しました。

まちかどを巡るスタンプラリーに むかしのまちなみと歴史を再発見

「辰野えびす講」の協賛事業として、スタンプラリーを実施しました。辰野中学校美術部の生徒がスケッチの題材にした店舗9カ所を巡り、スタンプを集めるイベント。町の歴史を知り、現在の地域の現状を再確認できる機会となりました。



—かわら版について—

このかわら版は、『長野県地域発元気づくり支援金活用事業』にて発行しました。詳細をお知りになりたい方は事務局までご連絡ください。

事務局：辰野町役場 建設水道課
 担当：上島
 住所：〒399-0493 上伊那郡辰野町中央1番地
 電話：0266-41-1111 (代)
 F A X：0266-41-4651